

日新グループ 持株会社制への移行について

～新築木造戸建て住宅における当社グループ製品使用率
「3棟に1棟」から「2棟に1棟」を目指して～

日新グループ（中核会社：株式会社日新、本社：鳥取県境港市、代表取締役：又賀航一）は2015年4月1日付で持株会社制へ移行する。これまでグループ主要各社は既に設立済みの持株会社に段階的に傘下入りしていたが、今般全ての行程（湖北ベニヤ株式会社が傘下に入ること）が完了したことに伴い、新たな体制をスタートさせるものです。新体制のもと、グループの総合力を発揮し、合板製造・販売を通して地域経済の発展、木材資源の再生産・有効活用、木の文化の継承、低炭素社会の実現に貢献すべく、今後の経営を推進して参ります。

1. 背景

当社グループの合板事業の業績に大きな影響を及ぼす住宅着工件数が、社会現象としての人口減に伴い長期的に減少すると予想され、また、原材料費の上昇、為替変動等コスト増加による収益圧迫懸念もあり、日本の合板業界を取り巻く環境は予断を許しません。今後、需要の低迷に起因するメーカー間の競合激化、その結果としての業界淘汰等不透明な状況が続くものと考えられます。

このような環境下において、近く創業70周年を迎えるにあたり、創業時の『和』の精神をモットーに「世界一の技術、日本一の工場」を目指し、よりよい製品の提供を通してお客様のお役に立てる、また、お客様に選択していただける企業であり続けるために持株会社制へ移行することに致しました。

2. 目的

(1) グループ経営の強化

各事業会社は、これまでもグループ企業として連携して参りましたが、今回の持株会社制により、株主・経営・社員を一体化し、それらが融合することで当社グループ間の連携を強化し、競合他社との差別化を図ります。今後は各社の独立性を保ちながら持株会社が横断的に統括することにより、グループとしてのコーポレートガバナンスを強化致します。

(2) 各事業会社の自主的経営

「経営戦略の策定・管理」と「業務の執行」を有機的に分担し、各事業会社は自社の役割、自己責任を明確に認識し、グループ全体の戦略の下、相乗的な事業経営を執行して参ります。

(3) 経営資源の効率化

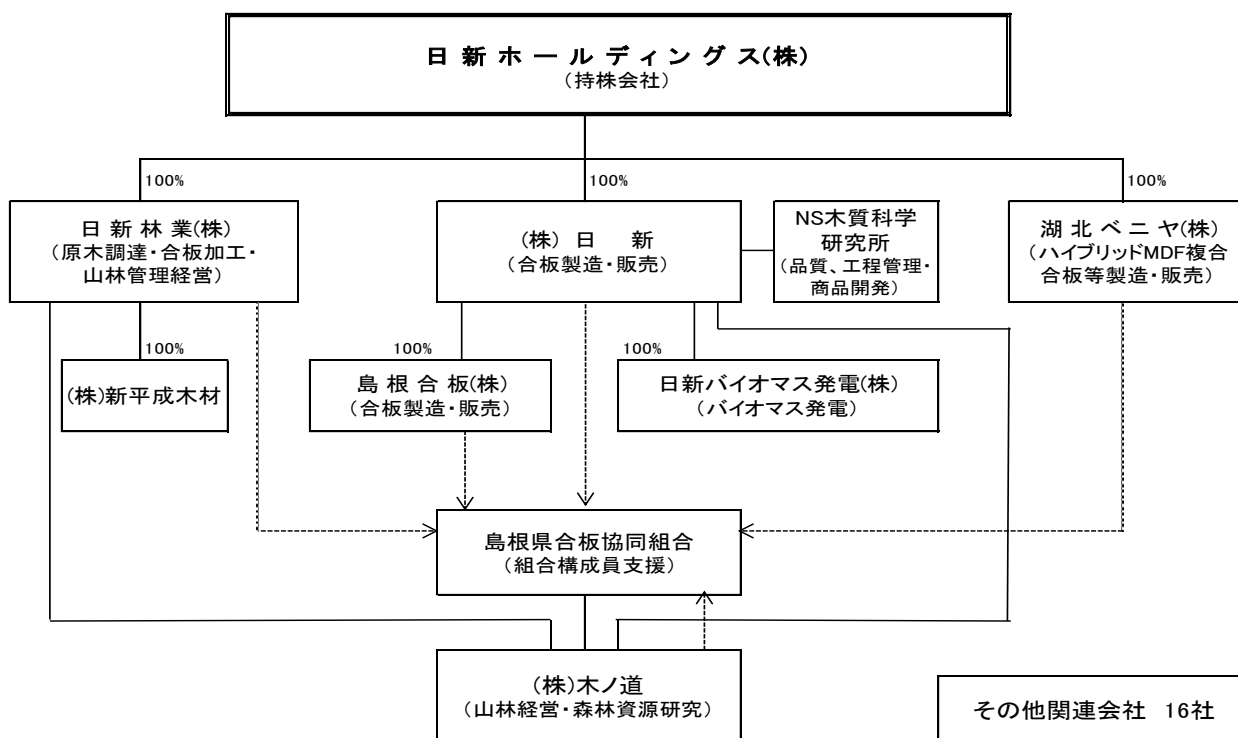
これまで各事業会社が抱えていた共通の業務を統合し、持株会社で一元化することにより、コスト削減、CMSによる資金効率向上、販売戦略の統一、情報の共有、人材の採用・教育・評価制度等経営資源の効率化を行います。

(4) 企業価値の向上・最大化

各事業会社が保有する経営資源を持株会社が効率的に配分し、お客様のニーズに正確に応えることにより企業価値の最大化に注力致します。また、企業価値向上に向けた国内外の新規事業、M&A、海外拠点づくりを持株会社制を活用して、機動的かつ柔軟に展開して参ります。

3. 持株会社制移行後のグループ体制

～世界一の技術で、日本一の合板工場～



2015年4月1日現在

4. 持株会社の概要

- (1) 社名： 日新ホールディングス株式会社
- (2) 設立日： 2012年10月1日
- (3) 所在地： 島根県松江市殿町383番地
- (4) 代表者： 又賀 航一
- (5) 資本金： 680万円
- (6) 機能： グループ戦略の立案と経営資源の最適運用を通して各事業会社の「ものづくり」をサポートし、お客様にお役立ちできる企業としての発展を目指します。

《参考》

- ① グループ売上高： 571億円（各社単純合算）
- ② グループ従業員数： 750人
- ③ 総資産： 460億円（簡易連結決算）
- ④ 純資産： 311億円（簡易連結決算）

（注）2014年3月期

- (1) 企業理念： 一和一
お互いに敬い、助け合い、感謝する心
- (2) 経営の基本： $mPQ=F+G$
一お客様へのお役立ち、豊かな生活、社会への貢献一

以上